

メリット

- ✓ 新しい「くすり」の誕生や将来の医療への貢献と、同じ病気に悩む多くの患者さんに役に立つという社会貢献ができます。
- ✓ 「薬の候補」の使用が可能なので、まだ治療薬のない疾患に対する治験であれば、他ではできない治療を受ける事ができます。
- ✓ 副作用などにいち早く対応するため、通常の診療より詳しい検査や診察が行われます。

デメリット

- ✓ 治験中は体調に変化がないか慎重に診察するため、来院や検査の回数が増えることがあります。
- ✓ 治験によっては、プラセボ[※]（成分の入っていない薬剤）を服用して頂く事があります。

※プラセボは、見た目や味は治験薬と全く同じですが、くすりの成分が入っていない「偽物の薬」です。薬の効果や副作用を正しく判断するために、プラセボが用いられます。
- ✓ 決められた日程で通院し診察・検査を受ける、くすりの飲み方や生活の仕方など、守らなくてはいけないことがあります。※食べてはいけないものや、一緒に使用してはいけない薬もあります。
- ✓ まれに、これまで知られていなかった副作用が現れることがあります。